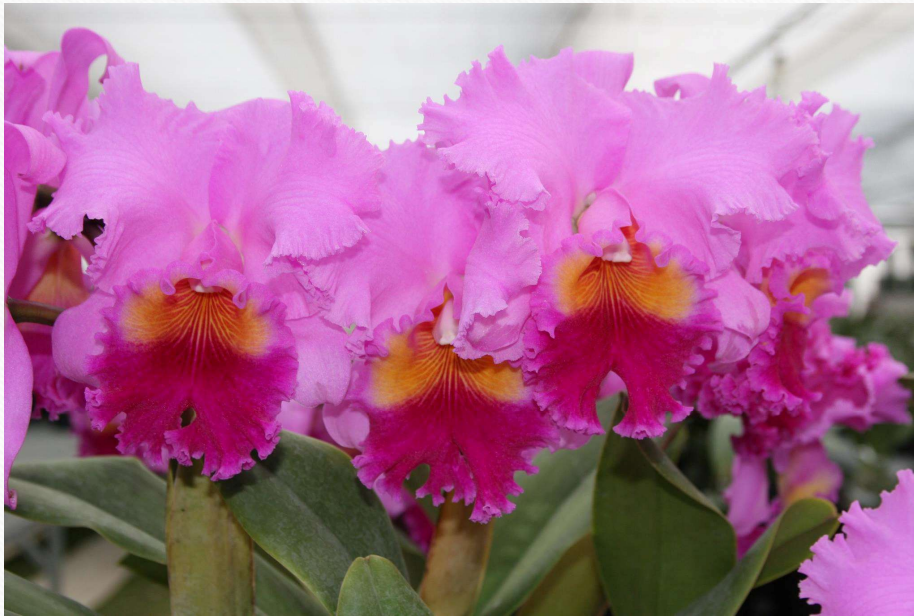


初めてのカタレア

カタレアと暮らす生活
お手入れ編

カトレアって??



今回皆様にご紹介するのは、手のひらくらい
の大きな花が咲く、とても綺麗な洋蘭の仲間
です。

赤道直下で生まれ、日本にもたくさんの愛好
家がいらっしゃいます。

育てるのは難しいってよく言われますが、
それほど難しくはありません。

いくつかのポイントをお伝えしますので、
一緒に育ててみませんか。

カトレアの山野井洋蘭 山野井 喜仁

お花のある時期はどうしたら良いの？

・大きな花なので、風が苦手です。エアコン、暖房機の風が直接当たらない場所に置いてください。

乾いた風や、暖かすぎる風で、花の寿命が極端に短くなります。

明るい居間などが置き場所には適しています。

・直射日光は嫌いますが、1～2時間程度の朝日があたるような環境を好みます。西日と直射日光は葉が、やけどをしてしまいますので、避けてください。窓辺など明るい所が好きですが、直射日光が当たる場合は、レースのカーテンなどで少し光をやわらげましょう。

・お水は、寒い時期は暖かい日の午前中、夏は夕方涼しくなったから、週に1度程度、鉢の中へたっぷりと与えてください。目安は鉢の大きさと同じくらいの水の量を、鉢の中全体にゆっくりとかけて下さい。鉢底からすぐ水は流れ出てしまいますので、ベランダや浴室など濡れても良い場所で行ってください。受け皿(鉢皿)には水をためず、水が切れてから受け皿に乗せ室内に置いてください。

・肥料は花の咲いている時期は必要としませんが、花が終わった後からは、ハイポネックスなどの液体肥料を適度に薄めて、製品の指示に従って栄養分を与えてください。

お花が終わったら。

(お花の寿命は1週間くらいです。)

- ・お花がしおれてきた。
- ・お花から違う香りがしてきた。

そんなサインが出てきたら、お花は終わりです。

右の写真を参考に、鋭利な刃物で切ってください。



毎年咲かせるための管理 お水・肥料編

・お水は、寒い時期は暖かい日の午前中、夏は夕方涼しくなったから、鉢の中へたっぷりと与えてください。目安は鉢の大きさと同じくらいの水の量を、鉢の中全体にゆっくりとかけて下さい。鉢底からすぐ水は流れ出てしまいますので、ベランダや浴室など濡れても良い場所で行ってください。受け皿(鉢皿)には水をためず、水が切れてから受け皿に乗せ室内に置いてください。

・肥料は花の咲いている時期は必要としませんが、花が終わった後からは、ハイポネックスなどの液体肥料を適度に薄めて、製品の指示に従って栄養分を与えてください。

・目安は、5日(夏季)～7日(冬季)に1回 鉢の中をみて乾いたらかけてください。

・液体肥料は水に混ぜ、肥料の入った水を1回かけたら、次の2回の水かけは無肥料といった具合に、だいたい1ヶ月に1回肥料が入った水をかけるくらいで、基本的に十分だと思います。各季節により異なりますので、季節ごとのアドバイスを見てください。

毎年咲かせるための管理 春編

・朝の最低気温が、15度を超えたら、屋外に置く事も可能です。

日中の直射日光と西日を嫌いますので、明るい木陰や明るい日陰、ヨシズの下など適しています。朝日があたり、午前9時頃から日陰になり、風通しの良い所は最高です。屋内でも窓辺の風通しの良い所で、朝日があたるような場所は適しています。このような場所以外でも、日中の直射日光・西日 これがあたらなければ、おおむね大丈夫です。直射日光が当たる場合は、レースのカーテンなどで光をやわらげてください。

・お水は、「鉢の中が乾いたらかける」が基本です。春は曇天や雨の日が多く乾かない事もあります。加減して1週間に1回くらいの目安で水かけをしてください。

毎年咲かせるための管理 夏編

・ 日中の直射日光と西日を嫌いますので、明るい木陰や明るい日陰、ヨシズの下など適しています。朝日があたり、午前9時頃から日陰になり、風通しの良い所は最高です。屋内でも窓辺の風通しの良い所で、朝日があたるような場所は適しています。それ以外でも、日中の直射日光・西日 これがあたらなければ、おおむね大丈夫です。

・ 夏の水かけは、5日に1回くらい早朝や夕方日が落ちてからたっぷりと。

液体肥料を通常の2倍くらいに薄めて、水かけの回数の半分くらいを、肥料が入ったお水でかけてあげてください。

猛暑の日は、水かけ回数とは別に、夕方日が落ちたら葉と株全体にサッとシャワーのような水を掛けてあげると、カトレアも涼しくなりホッとして元気が出ます。

毎年咲かせるための管理 秋編

・置き場所は春編・夏編と同じで大丈夫です。

・夜温が下がりはじめ、カトレアも元気が出ます。お水は、鉢の中が乾いたらかけるが基本です。鉢の中を観察して、乾いたら1週間に1回くらいの目安で水かけをしてください。水かけ時に入れる液体肥料は、月に1回程度にしてください。濃度は液体肥料のラベルの使い方を守ってください。

10月下旬、霜が降りる前に、屋外に出した場合は室内へ取り込んでください。

・ナメクジなどがいる場合があります。排除してください。花を食べてしまいます。

冬に向かい気温に注意が必要になってきます。10℃～23℃くらいの方が快適と思うような温度が目安です。

毎年咲かせるための管理 冬編

・置き場所は日中は窓辺で日の光をあて、夕方からは窓辺は冷え込むので、少し家の中心に移動させます。厚いカーテンの内側ならば大丈夫です。

・お水は、「鉢の中が乾いたらかける」が基本です。鉢の中を観察して、乾いたら1週間に1回くらいの目安で水かけをしてください。暖かい日の午前中に、お願いします。水かけ時に入れる液体肥料は、春まで混ぜなくて良いです。

冬は特に注意が必要です。暖房機から離れた場所で、10℃～23℃くらいの方が快適と思うような温度が目安です。

新芽に花が咲きます。

・前回花が咲いた茎の元から新芽がゆっくり伸びてきます。新芽には葉が出て開き、葉の付け根からはつぼみのサヤが出てくる予定です。新芽が出ないと花は咲きません。新芽はとても柔らかく、伸びる時も大変折れやすくなっています。移動や管理には十分ご注意ください。

管理に適さない場所

- ・玄関内の床・・・暗い場合が多いので、成長できません。
- ・ストーブ・エアコンの近くや温風・冷風が直接当たる場所。・・・乾きやすく傷みます。
- ・直射日光・・・強い日の光はカトレアがやけどしてしまいます。夏は特にレースのカーテンやヨシズなどで直射日光を遮りましょう。反対に冬は朝方の光が弱い時間に、2時間ぐらい直射日光が当たるようにするとなお良いです。丈夫な株になり、花が咲きやすくなります。

その他

・植え替えは3年に1回くらいで大丈夫です。カトレアの育て方の専門書が出ています。ご参考にしてください。

・病害虫対策・・・カトレアの株は非常に強健ですが、まれに風通しの悪い場所に置いた場合や、株自体が衰弱した場合、カイガラムシが発生します。

葉の裏や葉が重なったところに白い綿のようなものがついたらカイガラムシです。殺虫剤で駆除します。ホームセンターや園芸店で購入してください。

ナメクジが一番の害虫です。新芽や根の先、花まで何でも食べます。移動した時にできる、きらきら光る這った後を確認出来たら、必ず駆除してください。

おわりに

・たくさん書いてしまいました。

・水かけは週1回くらい乾くのを待って、肥料は薄く適当な回数を、直射日光は避け、でも実は明るい方が良く、お部屋の一番明るい場所がお勧めです。窓辺などどうしても直射日光が当たる場合は、レースのカーテンなどで光をやわらげてください。人と同じような気温が好き

おおむねこのような感じです。

無理せず楽しんで来年も咲かせてください。

カトレアの山野井洋蘭 山野井 喜仁